

平成30年度 国民健康保険特別会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	5. 保健事業費	大事業	2. 人間ドック助成事業
項	2. 保健事業費	中事業	
目	1. 保健事業費	担当所属	健康保険課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額			5年間計画額	
臨時	単独	計画	0	0	17,833	実施計画	第1章	思いやりと希望にみちたまちづくり	106,720
							基本施策6	国民健康保険、後期高齢者医療の適正運用	平成28年度 20,996
									平成29年度 21,497
									平成30年度 20,909
							施策3	保健事業を推進します	平成31年度 21,409
								平成32年度 21,909	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額	417	18,417

財源内訳	県支出金						一般財源
本年度当初要求額	0						0
本年度当初査定額	417						18,000

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・助成対象者は、受検日に国民健康保険の被保険者で納期限が到来している国民健康保険税が完納している20歳～74歳の方です。 ・短期人間ドック及び脳ドックそれぞれに係る経費の2分の1以内の額で各10,000円を上限として助成します。</p>	<p>(事業の目的) 被保険者の健康管理及び健康増進の一助とするとともに、生活習慣病を始めとする疾病の予防、早期発見及び早期治療等を目的とします。</p>	<p>(事業の効果) ・受診者が増加することにより、健康管理及び疾病の予防や早期発見・早期治療等につながり、医療費削減効果が期待できます。 ・人間ドックの結果を市に提供していただくことにより、特定健康診査の受診率の積み上げになり、特定健康診査の受診率の向上につながります。</p>
<p>(事業実施上の問題点)</p>	<p>(前年度からの見直し点) ・被保険者の健康増進及び国民健康保険に係る医療費の削減に向けて、被保険者の脳および脳血管疾患の早期発見、早期治療を目的として人間ドック検診に加え、脳ドック検診に対する負担軽減事業を行います。</p>	<p>(見積についての特記事項)</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
04	48	0	48
07	323	0	323
11	46	46	0
19	18,000	20,000	△2,000

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額